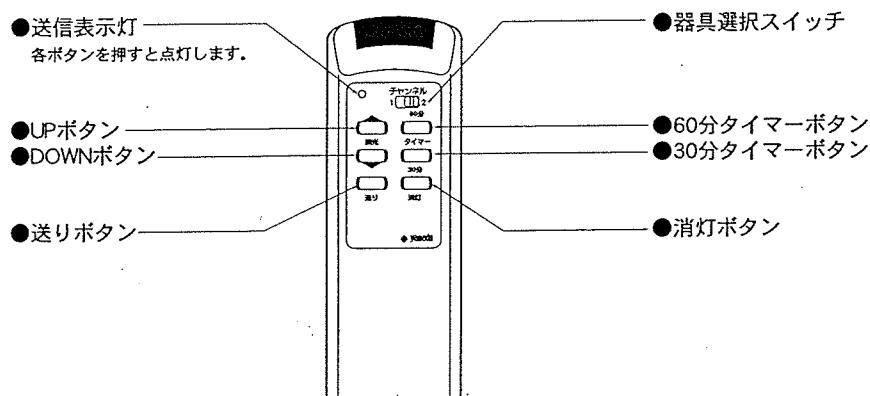
取扱説明書 保管用

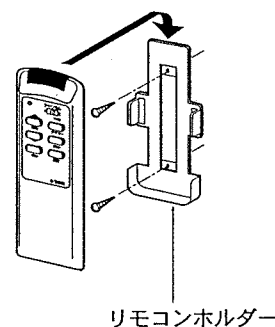
連続調光用タイマー付き赤外線リモコン

※このリモコンは同梱の器具専用です。

リモコンについて

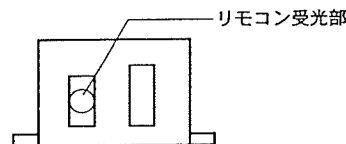
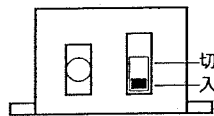
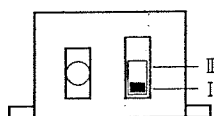
1. 各部の名称

2. 取付方法

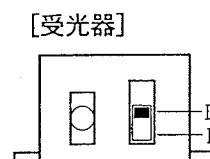
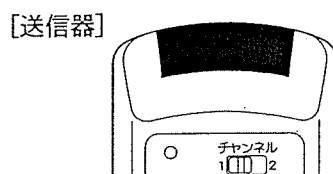
- リモコン送信器をなくさないように同梱されているリモコンホルダーは付属の木ネジで確実に固定してください。

※但し、リモコンホルダーにリモコン送信器を入れたまま、壁スイッチ代わりとしてご使用になる場合は、固定する前にその取付位置で照明器具が動作することを必ず確認してからリモコンホルダーを壁面の補強材のある位置に固定してください。

3. リモコン設定一照明器具本体の受光器を設定します。

●チャンネル設定スイッチ
このスイッチを切り替えることで1つの送信器で2台の照明器具を操作することができます。

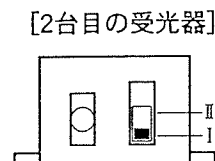
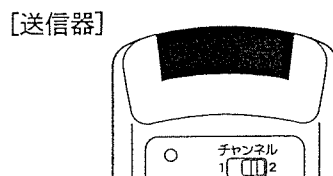
●ブザー設定スイッチ
リモコン操作時のブザーの入⟷切ができます

●リモコン受光部
リモコン送信器からの信号を受けます(傷つけたり、汚したりしないでください。)

- 器具選択スイッチ…1つの送信器で2台の照明器具を操作する場合
  受光器のチャンネルに合わせてスイッチを切り替えることで1つの送信器で2台の照明器具を操作することができます。

〈1台の器具のみ操作する場合〉
送信器の器具選択スイッチと照明器具の受光器のチャンネル設定スイッチが「1」に設定されていることを確認してください。

[送信器] [受光器]

〈2台の器具を操作する場合〉
送信器の器具選択スイッチと2台目の照明器具の受光器のチャンネル設定スイッチを「2」に設定してください。

[送信器]

[2台目の受光器]

〈注意〉
・送信器側と照明器具側のチャンネルが異なる場合は動作しません。
・出荷時は送信器、受光器ともにチャンネルは「1」になっています。

4. 照明器具の明るさ設定…「● 操作方法　2. UP・DOWNボタン」を参照してください。

- 一度明るさを設定すると、次に設定するまでマイコンが設定を記憶しています。

操作方法

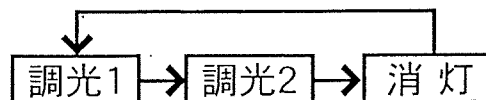
1.送りボタン

調光1 → 調光2 → 消 灯

- リモコン送信器を照明器具へ向け、送りボタンを押すと点灯します。
- 送りボタンを押すごとに照明器具を右図の順序で切り替えることができます。

・調光1、調光2は100％～約20％までお好みの明るさに設定することができます。

・ブザー設定スイッチが「入」になっていると、送りボタンを押すと“ピ”と1回ブザーが鳴ります。

※出荷時は調光が1に設定されています。

2.UP・DOWNボタン ※点灯時のみ作動

- 白熱灯(調光1または調光2)が点灯しているときに、UPまたはDOWNボタンを押してください。
  100％～約20％までお好みの明るさに設定することができます。
- ブザー設定スイッチが「入」になっていると、UPまたはDOWNボタンを押すたびに“ピ”と1回ブザーが鳴ります。

※但し、白熱灯が100％で点灯している際、UPボタンを押すと“ピピピ…”とブザーが鳴ります。また、白熱灯が約20％で点灯している際、DOWNボタンを押すと同様に“ピピピ…”とブザーが鳴ります。

3.タイマーボタン

- リモコン送信器を照明器具へ向け、タイマーボタンを押してください。

ブザー設定スイッチが「入」になっていると
30分タイマーボタンを押すたびに“ピピ”と2回ブザーが鳴ります。
60分タイマーボタンを押すたびに“ピピピ”と3回ブザーがなります。

〈注意〉

・30分及び60分タイマー動作中に新たにタイマーボタン以外のボタンを押すと、おやすみタイマーがキャンセルされます。
この際、ブザーが“ピー”と1回鳴ります。

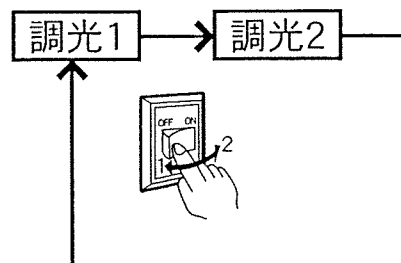
・30分及び60分タイマー動作中に新たにタイマーボタンを押すと、お休みタイマーが更新されます。
この際、ブザーが30分タイマーボタンを押すと“ピピ”、60分タイマーボタンを押すと“ピピピ”と鳴ります。

4.消灯ボタン

- 消灯ボタンを押すことで照明器具を消灯させます。
- ブザー設定スイッチが「入」になっていると、消灯ボタンを押すと“ピ”と1回ブザーが鳴ります。

5.壁スイッチで操作する場合

- 壁スイッチがONになっている場合

・すばやく（約2秒以内）OFF→ONさせると点灯状態が切り替えられます。
（ブザー設定スイッチが「入」になっていると、壁スイッチをOFF→ONすると“ピ”と1回ブザーが鳴ります。）

・壁スイッチで3秒以上消灯し、その後壁スイッチで点灯すると調光1の状態で点灯します。

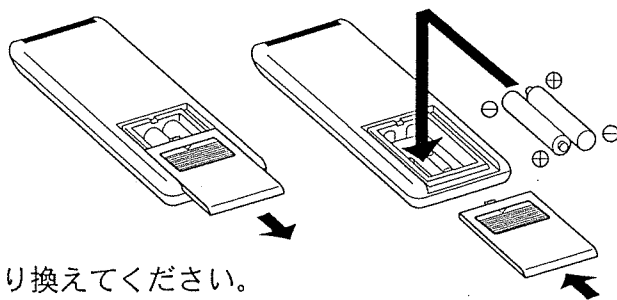
・壁スイッチをOFFにすると消灯します。

- 長時間使わないときには壁スイッチをOFFにしてください。（節電のため）壁スイッチをONでリモコンで消灯するとリモコン待機の電力を消費します。

※非常に短い停電が起こると点灯状態が切り替わることがあります。

電池交換方法

1. 裏面のフタを軽く押さえながら手前に引いてください。

2. 単3乾電池を表示に合わせて極性 ⊕ と ⊖ をまちがえないように交換し、フタを閉めてください。

● 電池交換時期の目安
・操作距離が短くなってきたときは取り換えてください。
・送信表示灯のランプの点灯が弱く点灯し始めたときは取り換えてください。

● 電池交換時のご注意（電池の誤った使い方をしますと「液もれ」や「破裂」する危険がありますので次のことにご注意ください。）
(1)電池の ⊕ と ⊖ の向きを正しく入れてください。
(2)電池を交換する際は必ず2本とも交換してください。種類の違う電池や古い電池を混ぜると動作不良の原因になります。
(3)電池を加熱、分解、ショートしたり、火の中に投入しないでください。
(4)充電式（Ni-Cd）電池は使用しないでください。
(5)長時間ご使用にならないときは、電池の「液もれ」が原因で故障になる場合がありますので電池を取りだしておいてください。

（裏面もご覧になって正しくご使用ください。）

使用上の注意

●送信機のスイッチ操作は、ゆっくり確実に行ってください。早く乱暴に押すと、正しくコントロールできないばかりでなく、故障の原因になります。
●送信機と照明器具の間に障害物(しゃへい物)があると照明器具に信号が届きません。障害物(しゃへい物)がある場合には、障害物(しゃへい物)を避けて操作してください。
●壁スイッチで電源を切ってある場合やその他の何らかの原因で器具の電源が切れているときには、リモコンで操作しても点灯しません。
●器具のカバーや送信機の送信窓が汚れていると動作しにくくなります。
●リモコン送信機を落としたり、飲物をかけたりしないでください。
●この器具以外にインバータ器具を取り付ける場合には1.5m以上離してご使用ください。
●シンナーやベンジンなどの揮発性の薬品で拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。

☆特にご注意いただきたいこと
(重大な事故や故障につながります。)

●ライトコントロールと組み合わせて使用することは絶対にしないでください。
●送信機や受信機のケースを開けたり改造したりしないでください。また、受信機の換気穴などからドライバーを差し込まないでください。
●湿度の高い場所や湿気の多い場所では使用しないでください。

◎お願い

●リモコンやプルスイッチ(プルスイッチ付の器具の場合)で消灯した場合には、リモコンを動かすためのわずかな電流が流れて、約1Wの電力を消費しています。お出かけなどで長時間お使いにならない時は、必ず壁スイッチを切って節電に心がけてください。
●一部の商品(照明器具に限りません)の中には、『お手持ちの赤外線リモコンでコントロールできます』をキャッチフレーズにしている赤外線リモコン製品が出回っています。
このような商品と当社のリモコン器具を同じ部屋でご使用にならないようにしてください。(このような商品とのトラブルには、当社ではいっさい責任を負いかねますのでご了承ください)

故障かな……と思ったら『Q&A』

リモコン送信機を操作してもうまく動作しないときには、下記の事柄をご確認ください。

症　状	原因と対策(《　》内が対策です)
リモコン送信機のスイッチを押しても動作しない	●壁スイッチが「OFF」になっている 《壁スイッチを「ON」にしてください》 ●リモコン送信機の電池が消耗している 《新しい電池と交換してください》 ●リモコン送信機の電池が正しく入っていない 《電池の⊕と⊖の方向を確認してください》 ●送信機のチャンネル番号と受信機のチャンネル番号が合っていない 《送信機側のチャンネル番号を「1」と「2」の両方で試してください》 ●リモコン送信機を照明器具の方に向けて操作していない 《リモコン送信機を照明器具に向けて操作してください》 ●リモコン送信機と照明器具の間に障害物がある 《障害物を避けて操作してください》 ●この器具の近くに他のインバータ器具が取り付けてある 《この器具の近くにもう1台インバータ器具を取り付ける場合には1.5m以上離して取り付けてください》 ●ご使用している照明器具の「おすすめ畳数(適用畳数)」より広い部屋で使用している 《部屋の内装材や色によって左右されますが、「おすすめの畳数(適用畳数)」の室内であれば確実に動作いたします。もう一度お使いの照明器具の「おすすめの畳数(適用畳数)」をご確認の上ご使用ください (「おすすめの畳数(適用畳数)」は、照明器具の取扱説明書をご覧ください
送りボタンを押しても減光しない。(調光状態にならない)	●調光モード2が調光のUPボタンでフル点灯状態に調節してある 《送りボタンで消灯した後、送りボタンを2回押して調光モード2にあわせます。次に調光のDOWNボタンを押して減光します。ある程度減光したら、いったん送りボタンを押して調光モードを記憶させます。その後再び送りボタンを押して確認してください。》

『Q&A』をご覧になっても正常に動作しないときには、山田照明サービス受付窓口にご連絡ください。
お問い合せの際には、ご使用になっている照明器具の品名をご確認の上ご連絡ください。
(山田照明サービス受付窓口の電話番号と照明器具の品名は照明器具の取扱説明書をご覧ください。)

(裏面もご覧になって正しくご使用ください。)